

1. プレイパーク事業の現状評価と、今後の展開について問う

プレイパークとは、子どもたちが自らの発想で遊び、自主性と創造性を育むことを目的とした「子どもたちの居場所」であり、「生きる力を育む場所」である。

近年、公園で遊ぶ子どもたちの姿を見ることが少なくなってきたと感じる。

子どもは自然の中でたくさんの体験をすることが必要であり、自然と触れ合える場の提供は子どもだけに限らず大人の憩いの場としても重要である。

子どもたちにとって、遊びは生きることそのものであるが、娯楽の発達、大人による安全重視の管理や清潔志向上昇によって子どもたちの遊びを取り巻く環境は大きく変わってきた。

町長は公約の中でプレイパークの充実に向けて金井島緑陰広場の整備を掲げており、また、プレイパークは行政と町民が「のびのびと子どもを育てていく」という目的を共有し、現代の子どもたちを取り巻く環境において不足している自由な遊び場と体験の提供、体力向上、非認知能力向上に寄与する事業であることから、次の項目を問う。

- ① プレイパーク事業のこれまでの展開をどう評価するか。
- ② 常設型プレイパークに向けた具体的な政策は。
- ③ 町民に向けたPRは十分にできているか。
- ④ 町内公園の維持管理業務は適切に行われているか。